

証拠説明書37

静岡地方裁判所 民事2部合議係 御中

令和5年7月6日

原告ら訴訟代理人 弁護士 鈴木 敏 弘

弁護士 河 合 弘 之

弁護士 青 山 雅 幸

外

(甲B号証)

甲B号証	表題	作成者	作成(発行)年月日	原本/写しの別	頁	項目	立証要旨	立証趣旨	URL	備考
103	御前崎面の分布と活構造	桂島茂 外	1987	写し				甲B100において、地頭方背斜の影響でできた活構造及び活断層とされている図。		
104	5万分の1地質図幅 御前崎	地質調査所 (現 産総研 地質調査総合センター)	1988	写し				女神背斜, 比木向斜, 地頭方背斜, 新谷・西側・上岬の向斜及び背斜は, いずれも東西の圧縮力によって形成され, そして現在もその力が働き続けているのであるから, これらの褶曲構造に存在する断層(特に北東-南西方向または北西-南東方向の断層)は, 常にプレート境界型巨大地震, すなわち南海トラフ地震に際して, お付き合い断層として動く蓋然性が高いこと。		
105	「5万分の1地質図幅 御前崎」に各背斜・向斜の位置を示したもの	地質調査所 (現 産総研 地質調査総合センター)	1989	写し				赤線で囲んだものが, 西から順に女神背斜, 比木向斜, 地頭方背斜並びに新谷・西側・上岬付近の各向斜と向斜間の各背斜である。		
106	浜岡原子力発電所付近の活断層露頭に関する報告書	塩坂邦雄	令和5年7月3日	写し				浜岡原子力発電所の直近に上載地層に変位がある南北方向の活断層が発見されたこと。		